

2019 年度事業報告案

2020/5/25

1. 全般

前年度に引き続き、学会誌の編集、研究大会実行委員会の編成・審議（研究大会自体は 2020 年 4 月の開催）、学会賞選考、定例研究会の開催等に取り組んだ。また、法制度部会主催で「第 1 回肖像権ガイドライン円卓会議」を開催するなど、各部会・SIG 等の活動も活発に行なった。新たな SIG として「デジタルアーカイブ理論研究会」が発足した。さらに本年度特筆すべきこととしては、デジタルアーカイブの基礎理論の確立と普及を目的として、『デジタルアーカイブ・ベーシックス』を 5 巻シリーズとして発刊し、第 1 巻『権利処理と法の実務』及び第 2 巻『災害記録を未来に活かす』を発行した。

2. 役員等

会長 長尾 真（京都大学名誉教授）

会長代行 吉見 俊哉（東京大学大学院情報学環 教授）

顧問

後藤 忠彦（岐阜女子大学 前学長）

佐々木 正峰（元文化庁長官）

高山 正也（前国立公文書館長）

理事

生貝 直人（東洋大学 准教授）

井上 透（岐阜女子大学デジタルアーカイブ研究所 所長・教授）

今村 文彦（東北大学災害科学国際研究所 所長・教授）

北本 朝展（国立情報学研究所 准教授）

黒橋 禎夫（京都大学大学院情報学研究科 教授）

坂井 知志（国士舘大学 スポーツアドミニストレーター）

柴野 京子（上智大学 准教授）

杉本 重雄（筑波大学 名誉教授）

高野 明彦（国立情報学研究所 教授）

時実 象一（東京大学大学院情報学環 高等客員研究員）

林 和弘（文部科学省科学技術・学術政策研究所 上席研究員）

原田 隆史（同志社大学大学院総合政策科学研究科 教授）

細井 浩一（立命館大学映像学部 教授・アート・リサーチセンター長）

福井 健策（弁護士・日本大学芸術学部客員教授）

藤田 高夫（関西大学 教授）

水島 久光（東海大学文学部 教授）

宮本 聖二（立教大学 教授）

柳 与志夫（東京大学大学院情報学環 特任教授）

山川 道子（(株)プロダクション・アイジーアーカイブチームリーダー）

渡邊 英徳（東京大学大学院情報学環 教授）

監事

重田 勝介（北海道大学付属図書館 研究開発室員・准教授）

東 由美子（国際ファッション専門職大学 教授）

評議員（肩書は就任当時）

青木 敬士（日本大学 芸術学部文芸学科 教授）

浅野 隆夫（札幌市中央図書館 図書・情報館 担当係長）

安藤 久夫（NPO 法人日本アーカイブ協会 理事）

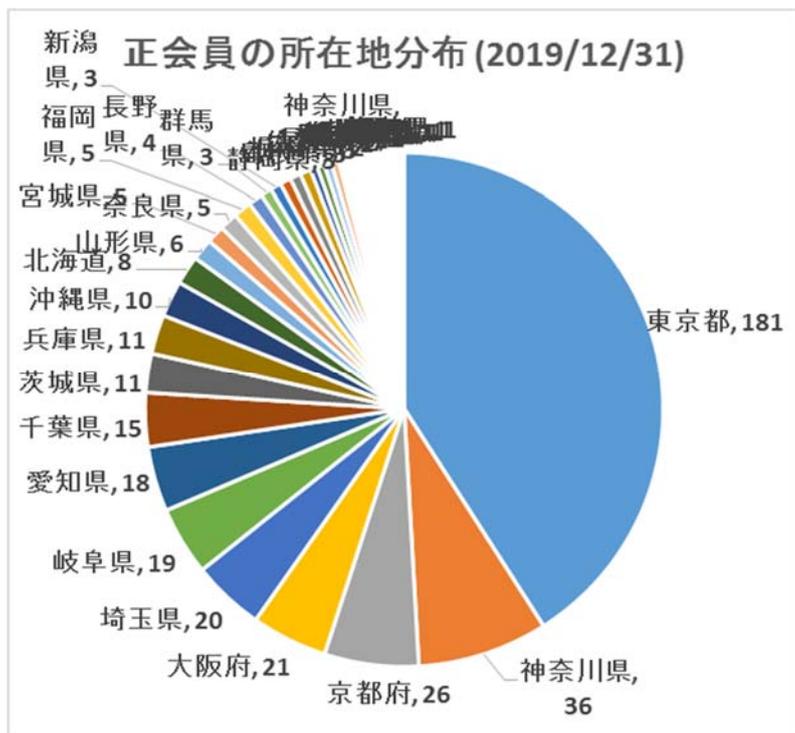
伊勢 博（(株)アーキネット 代表取締役）

大久保 ゆう (本の未来基金 運営委員)
太下 義之 (三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング 芸術・文化政策センター長)
大西 亘 (神奈川県立生命の星・地球博物館 学芸員)
岡室 美奈子 (早稲田大学 坪内逍遙記念演劇博物館 館長)
北本 朝展 (人文学オープンデータ共同利用センター／国立情報学研究所 准教授)
久世 均 (岐阜女子大学 教授)
糸川 麻里生 (慶応義塾大学文学部教授)
齋藤 義朗 (長崎県 文化観光国際部文化振興課 主任学芸員)
数藤 雅彦 (五常総合法律事務所 弁護士)
砂川 浩慶 (立教大学社会学部メディア社会学科 教授)
瀬尾 太一 (日本写真著作権協会 常務理事)
平良 斗星 (公益財団法人みらいファンド沖縄 副代表理事)
谷 里佐 (岐阜女子大学 教授)
田良島 哲 (東京国立博物館 博物館情報課)
長丁 光則 (デジタルアーカイブ推進コンソーシアム事務局長)
仲野 寛 (島根大学 教育・学生支援機構生涯教育推進センター 教授)
濱崎 好治 (川崎市民ミュージアム 副館長)
原田 悦志 ((株)日本国際放送/NHK 国際放送局付 チーフプロデューサー)
福島 幸宏 (京都府立図書館 副主査)
藤田 高夫 (関西大学 文学部 教授)
細矢 剛 (国立科学博物館、植物研究部 グループ長)
前川 道博 (長野大学 企業情報学部 教授)
又吉 斎 (沖縄女子短期大学 講師)
町 英朋 (常磐大学 総合政策学部総合政策学科 准教授)
松岡 資明
真鍋 真 (国立科学博物館 標本資料センター コレクションディレクター)
皆川 雅章 (札幌学院大学 教授)
三宅 茜巳 (岐阜女子大学 大学院文化創造学研究科長 教授)
宮本 聖二 (ヤフー(株)メディア事業本部 エグゼクティブ・プロデューサー)
山崎 博樹 (知的資源イニシアティブ)
油谷 暁 (奈良先端科学技術大学院大学 総合情報基盤センター 助教)

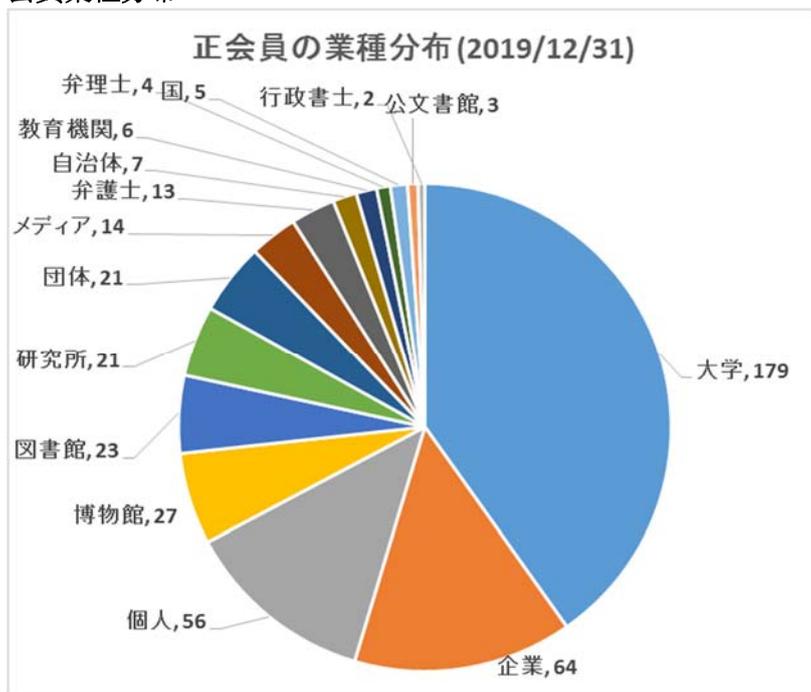
3. 会員 (2019/12/31 現在)

種別		2017年 年度会員	2018年 年度会員	2019年 年度入会	2019年 年度退会 (除籍)	2019年 年度会員	2019年 年度退会 予定
正会員	全期	248	352	41	5	412	9
	半期	20	24	26		26	
学生会員		25	34	11	12	33	2
賛助会員		29	40	7		47	2
合計		322	450	85	17	518	13

会員地域分布



会員業種分布



4. 会議開催状況

4.1 2019 年度通常総会 (議決権行使)

デジタルアーカイブ学会規約第 17 条～19 条に従って会員の議決権行使をお願いした結果、下記の結果となった。

実施期間: 2019/6/14 ～ 2019/6/28

対象会員数 (2019/6/14 現在)

正会員 408 名、学生会員 41 名、賛助会員 43 名

合計 492 名

議決権行使数 275 名、うち重複 3 件を除き、有効 272 件(メールでの議決権行使 2 名を含む)従って、定足数 246 名を上回り、総会は成立した。

決議事項および報告事項

【決議事項】

第 1 号議案 2018 年度財務諸表等の承認

1-1. 2018 年度事業報告 [資料-1]

1-2. 2018 年度財務諸表等 [資料-2]

1-4. 2018 年度監査報告書 [資料-3]

第 2 号議案 会費減免措置廃止の承認 [資料-4]

第 3 号議案 役員の選任 [資料-5]

【報告事項】

第 1 号報告 2019 年度計画等

1-1. 2019 年度事業計画書 [資料-6]

1-2. 2019 年度収支予算書 [資料-7]

議決結果

第 1 号議案 2018 年度財務諸表等の承認

承認 272 非承認 0

第 2 号議案 会費減免措置廃止の承認

承認 260 非承認 12

第 3 号議案 役員の選任

承認 268 非承認 4

第 1 号、第 2 号、第 3 号議案とも、行使された議決権の過半数を上回り、承認された。

4.2 理事会

(1) 第 1 回理事会

日時:2019 年 6 月 5 日(水)15:00-17:00

場所:東京大学 情報学環・福武ホール 1 階会議室

出席者:生貝、井上、坂井、杉本、時実、福井、柳、吉見(会長代行)

【審議事項】

1. 「肖像権ラウンドテーブル」をデジタルアーカイブ学会主催で 2019 年 9 月 26 日(木)に開催することを承認した。
2. 2018 年度事業報告案及び決算報告案(資料-01,02)を承認した(総会提出議案)。
3. 2019 年度事業計画案及び予算案(資料-03,04)を承認した(総会提出議案)。
4. 会費減免措置の 2019 年度継続と 2020 年度廃止(資料-05)を承認した(総会提出議案)。
5. 2019 年度の通常総会は通信総会(議決権行使)して実施することを承認した(資料-06)。
6. 評議員会規則案につき若干の修正を行った上承認した(資料-07)。
7. 会員の会費滞納と除籍の規定について議論した(資料-08)。これに基づき規定を作成し理

事会の承認を得ることとした。

8. 第4回研究大会は2020年4月25、26日に東京一橋講堂で開催する予定で、その準備体制について報告があった。
9. デジタルアーカイブ産業賞授賞式(2019年7月18日)への後援をおこなうことを承認した。
10. 2019年度理事の選任について提案(資料-09)があり、承認された(総会提出議案)。

【報告事項】

1. 福井謙策理事が第1回デジタルアーカイブ産業賞・貢献賞を受賞された。
2. 法制度部会として、個人情報保護法パブリックコメントを提出した(資料□13)。
3. 2019年度会誌発行計画の説明があった(資料□11)。
4. 『デジタルアーカイブベーシック』の発行と編集状況について説明があった。
5. 2019年度学会賞の進行について報告があった。
6. 各部会等の報告がおこなわれた。

(2) 第2回理事会

日時:2019年9月17日(火)15:00-17:00

場所:東京大学 情報学環・福武ホール1階会議室

出席者:理事:井上、北本、黒橋、坂井、柴野、杉本、時実、林、原田、福井、藤田、宮本、柳、山川、吉見(会長代行)、渡邊、監事:東

【報告事項】

1. 新理事の自己紹介をおこなった。
2. 2019年度通常総会議決権行使結果報告(資料2)
3. 2019年度事業計画(資料5)
4. その他
 - (1) 第7回・第8回定例研究会の実施予定(資料10)
 - (2) 『デジタルアーカイブ・ベーシック』第2巻の発行と今後の予定
 - (3) SIG「デジタルアーカイブ理論研究会」発足(5月)
 - (4) 第2回学会賞選考作業の開始

以上柳理事((4)は福井理事)より説明があった。

第7回定例研究会では、ジャパンサーチに関するSIGの結成も視野に入れている

- (5) 「肖像権ガイドライン案」の円卓会議(9/26)(資料11)について福井理事から説明があった。

【審議事項】

1. 第4回研究大会実施計画(資料3,4)
第4回研究大会研究発表の方式は、これまでと異なり、口頭発表の代わりにライトニングトーク+ポスター発表をおこなう。発表は査読なし。とは理解できる。
北本理事より予算の説明があった。今回は会場費が高いため、協賛金に頼ることになる。
2. 会員入退会の承認(資料6,7)
承認された。
3. 謝金内規の改定(資料9)
承認された。

【その他】

各部会からの報告が以下のとおりあった。

(1) 人材養成部会(井上理事)

11月23日にコミュニティーアーカイブ部会その他との共催で、岐阜で「デジタルアーカイブ研究会」をおこない、ジャパンサーチについても議論する。

(2) コミュニティーアーカイブ部会(宮本理事)

規模の小さいアーカイブにおける人材育成や標準化をテーマにして研究会を開こうと考えている。

(3) 関西支部

12月に支部の研究会を実施したい。

福井理事より以下の報告があった。

- (1) マンガナショナルセンター設置法がいよいよ実現しそうなので、その後デジタルアーカイブ法案の可能性も高まることが期待される。
- (2) アーチスト・コモンズの動きがある。アーチストに通し番号を振るという構想である。関西大学の三浦文夫先生が中心となっている。福井理事が顧問となっている。

(3) 第3回理事会

日時: 2020年2月4日(火) 16:00-17:30

場所: 東京大学 情報学環・福武ホール1階会議室

出席者: 吉見(会長代行)、理事: 井上 (Zoom)、北本、坂井、柴野、時実、林、理事: 原田 (Zoom)、福井、水島、宮本、柳、山川、監事: 東

【報告事項】

1. 2019年度事業報告(暫定)(会員現況を含む)

時実事務局担当理事から資料1に基づき説明があった。会員数は2019/12/31現在で520名に達した。

2. 2019年度中間決算報告

時実事務局担当理事から資料2に基づき説明があった。

3. 学会誌発行状況と発行計画

時実事務局担当理事から資料1の4ページに基づき説明があった。

4. 研究大会準備状況

北本研究大会実行委員長より報告があった。

- ・発表申込締切を延長し、合計45件の発表となった。
- ・企画セッションについて準備をお願いしている。

柳総務担当理事より、特別講演は赤松健氏にきまったこと、ミニ・シンポジウムは京アニと川崎市民ミュージアムを例にリスク管理をテーマとして行うことが報告された。

5. 2021年度研究大会開催日時及び場所

柳総務担当理事より次回研究大会2021年4月23・24日に東北大学でおこなうことが決まった旨報告があった。

6. 『デジタルアーカイブ・ベーシックス』発行状況

柳総務担当理事より第3巻(自然科学・理工学アーカイブ)は研究大会までに発行、年内に第4巻(アート・シーン)、第5巻(産業論)を発行する予定であることが報告された。

7. 2019年度学会賞選考状況

柳総務担当理事より、2月5日に選考委員会を開催し受賞者を決定する旨、報告があった。

8. 部会・支部活動報告

(1) 法制度部会(福井部会長)

昨年の肖像権円卓会議の結果を受け、2月に第2回(関西)、3月に第3回を開催する。

(2) 人材養成部会(井上部会長)

2019/11/23の「デジタルアーカイブ研究会」はZoom参加も含めて50名が参加した。2020/2/11には岐阜女子大学のイベントに参加して研究会をおこなう。また2020/2/25には長崎で地域アーカイブの研究会を行う予定。

(3) コミュニティアーカイブ部会(坂井前部会長)

人材養成部会と共同でイベントをおこなっている。

(4) 関西支部(原田支部長)

2020/2/15に肖像権円卓会議in関西をおこなう。またジャパンサーチ関係のイベントの希望がある。

(5) SIG ジャパンサーチ研究会(時実主査)

2019年10月に結成し、2019/10/30に提言をデジタルアーカイブジャパン実務者検討委員会高野座長に提出した。2020/2/20には田良島委員が中心となって公開セミナーを開催する。

(5) SIG 理論研究会

2019年5月に結成したが、すでに15名以上となっている。境界事例について研究している。

【審議事項】

1 2020年度事業計画(暫定:正式なものは総会決議事項)

柳総務担当理事より説明があり、了承された。

2. 2020 年度予算案

時実事務局担当理事より説明があった。2020 年度は研究大会の収入・支出が発生する。審議の結果予算案は了承された。

3. 2020 年度総会開催について

議の結果、来年度も通信総会とすることとなった。

4. 入退会承認

会員の入退会が承認された。

(3) 第 4 回理事会

日時: 2020 年 3 月 9 日 (月) 14:45~15:45

場所: 東京大学 情報学環・3F 会議室

出席: (五十音順、*印は Zoom 参加) 吉見(会長代行)

理事: 生貝、井上*、北本、坂井*、柴野、杉本*、高野*、時実、林*、原田*、福井*、細井*、宮本、柳、山川

【審議事項】

1. コロナウィルス対策に対応した第 4 回研究大会の実施概要見直しについて

(1) 第 3 回肖像権円卓会議の同時開催

福井理事から次のとおり提案があった。

- ・現在の新型コロナウイルスの影響で、3 月 6 日に予定されていた肖像権円卓会議は延期した。
- ・第 4 回研究大会の午前の部に元々法制度部会のワークショップがあるので、この枠で開催したい。

審議の結果、円卓会議を「地域アーカイブ」ワークショップと入れ替える形で実施する（「地域アーカイブ」ワークショップの承諾が必要）ことに決定した。

(2) 研究大会時における「無料法律相談会」の実施

福井理事より次の通り提案があった。

- ・法制度部会もメンバーが 20 名を超え、少数のプロジェクトチームを立ち上げた。その第一弾として研究大会において無料法律相談会を開催したい。法制度部会には法律専門家が 8 名いるので、テストケースとして無料の法律相談ブースを設けて、一回 30 分程度の法律相談を受ける。

- ・相談対象は本会員、賛助会員。

審議の結果、第 4 回研究大会において、「無料法律相談会」を実施することに決定した。

(3) プログラム等の見直し

北本理事(研究大会実行委員長)が実行委員会からの提案を説明した。

- ・ハイリスクと言われるポスターセッション(濃厚接触の可能性)、懇親会を中止。
- ・代わりに口頭発表 4 セッション(各 3 会場並行)を実施し、オンラインで公開する。
- ・参加者はオンライン参加、オフライン参加の一方を選べるようにする。また、口頭発表が嫌だと言う方は拒否を出来るように取り計らう。
- ・濃厚接触を更に避けるとなると、全オンライン参加という方法も検討する。

審議の結果、実行委員会案を(会場配置修正のうえ)承認した。なお今後コロナ感染の拡大にともない重大な意思決定が必要な場合は、実行委員長を中心に案を作成し、会長代行が決定(必要に応じて会長に確認)することとした。

2. 2019 年度学会賞選考結果

学会賞事務局の福島から選考委員会の選考結果の報告があり、承認された。

3. 入退会承認

承認された。

4. その他

(1) クレジットカードによる学会経費の支払いについて

時実理事より、学会の定期的支払(オンライン経費など)に用いる事を条件にクレジットカードを作成することが提案され、承認された。

4.3 学会誌編集委員会

[委員]

委員長 吉見 俊哉 (東京大学大学院情報学環 教授)

副委員長

井上 透 (岐阜女子大学デジタルアーカイブ研究所)、時実 象一 (東京大学大学院情報学環)

東 由美子 (東京大学大学院情報学環)、宮本 聖二 (立教大学大学院)、渡邊 英徳 (東京大学大学院)

委員

生貝 直人 (東洋大学)、今村 文彦 (東北大学災害科学国際研究所)、大西 亘 (神奈川県立生命の星・地球博物館)、大向 一輝 (国立情報学研究所)、岡室 美奈子 (早稲田大学坪内博士記念演劇博物館)、菊池 信彦 (関西大学)、古賀 崇 (天理大学)、後藤 真 (国立歴史民俗博物館)、坂井 知志 (常磐大学・大学院)、柴山 明寛 (東北大学)、高久 雅生 (筑波大学情報学群知識情報・図書館学類)、高野 明彦 (国立情報学研究所)、谷 里佐 (岐阜女子大学)、中村 覚 (東京大学)

原田 隆史 (同志社大学大学院総合政策科学研究科)、林 和弘 (文部科学省科学技術・学術政策研究所)、細井 浩一 (立命館大学)

会議名	日時	場所	出席者
2019年度第1回編集委員会	2018/9/17(火) 13:15-14:45	東京大学(本郷キャンパス)福武ホール1階会議室	吉見委員長、井上、時実、東、宮本聖二各副委員長、大向、岡室、菊池 (Skype)、古賀 (Skype)、坂井、高久、原田、林、宮本隆史
2019年度第1回編集幹事会	2019/10/31(木) 15:00-16:00	東京大学大学院情報学環本館1F会議室	井上、時実、東、宮本聖二、渡邊各副委員長
2019年度第1回編集幹事会	2020/3/11	ZOOM開催	井上、時実、東、宮本、渡邊各副委員長

4.4 研究大会実行委員会

(1) 第4回研究大会第1回実行委員会

[委員]

委員長 北本 朝展 (国立情報学研究所)

委員

柴野 京子 (上智大学)、鈴木 親彦 (国立情報学研究所)、高野 明彦 (国立情報学研究所)、時実 象一 (東京大学大学院情報学環)、中西 智範 (早稲田大学 坪内博士記念演劇博物館)、中村 覚 (東京大学情報基盤センター)、橋本 雄太 (国立歴史民俗博物館)、原田 隆史 (同志社大学大学院総合政策科学研究科)、福島 幸宏 (東京大学大学院情報学環)、柳 与志夫 (東京大学大学院情報学環)

会議名	日時	場所	出席者
第1回実行委員会	2019/7/24(水) 13:00-14:30	東京大学大学院情報学環本館7階演習室1	北本委員長、鈴木、柴野、高野、時実、福島、中村、柳、各委員
第2回実行委員会	2019/8/27(火) 16:00-18:00	国立情報学研究所1902会議室	北本委員長、柴野、高野、時実、中西、中村、福島 (Zoom参加)、柳各委員。(欠席:橋本、原田各委員)

第3回実行委員会	2019/11/8(金) 16:00-18:00	国立情報学研究所 1902会議室	北本委員長、柴野、鈴木、高野、時実、福島、中村、柳、遠隔参加：中西
第4回実行委員会	2020/1/30(木) 13:00-14:50	東京大学本郷キャンパス工学部2号館92b教室	北本委員長、柴野、鈴木、中西、中村、橋本、福島、柳
第5回実行委員会	2020/3/3(火) 13:00-14:50	遠隔開催(Zoom)	北本委員長、柴野、鈴木、時実、福島、中西、柳
第6回実行委員会	2020/3/25(火) 15:00-17:00	遠隔開催(Zoom)	北本委員長、大向、柴野、鈴木、高野、時実、橋本、福島、柳

4.5 学会賞選考委員会

[選考委員会]

青柳 正規 (東京大学名誉教授・デジタルアーカイブ推進コンソーシアム会長)

長尾 真 (デジタルアーカイブ学会会長：委員長)

御厨 貴 (東京大学名誉教授・ひょうご震災記念21世紀研究機構研究戦略センター長)

吉羽 治 (講談社取締役)

吉見 俊哉 (東京大学情報学環教授・デジタルアーカイブ学会会長代行：作業部会長)

[作業部会]

生貝直人(理事、法制度副部会長)、井上透(理事、人材養成部会長)、北本朝展(評議員)、坂井知志(理事、コミュニティアーカイブ部会長)、高野明彦(理事、技術部会長)、時実象一(理事、学会誌副編集長)、永崎研宣、長丁光則(デジタルアーカイブ推進コンソーシアム事務局長、評議員)、原田隆史(理事、関西支部長)、福島幸宏(評議員)、柳与志夫(理事、総務担当)

会議名	日時	場所	出席者
第1回作業部会	2019/11/20(水) 13:00-15:00	東京大学大学院情報学環本館7階演習室3	嘉村、亀田、坂井、長丁、福島、宮本、吉見(部会長)
第2回作業部会	2019/12/24(火) 13:00-15:00	東京大学大学院情報学環本館3F会議室	
第1回選考委員会	2020/2/5(火)	国立情報学研究所 1902会議室	青柳(委員長代理)、吉羽、吉見

5. 研究大会

今年度の開催はなかった。

6. デジタルアーカイブ学会誌

6.1 発行状況

下記のとおり発行するとともに、約1.5月遅れでJ-STAGEに登載・公開している。

巻号	発行日	本文ページ数	広告数	発行部数	J-STAGE 公開日
第3巻第3号	2019/6/24	77p.(265-366)	6	650	2019/7/23

第3巻第4号	2019/10/1	97p. (367-419)	8	600	2019/12/16
第4巻第1号	2020/1/8	69p. (1--)	5	680	

6.2 論文投稿状況

投稿日	種別	タイトル	掲載巻号ページ
2019/1/18	事例/報告	日本国内における自然史標本資料の電子化状況アンケート調査結果	3巻3号 345-349 ページ
2019/8/16	研究論文		不採択
2019/9/1	研究論文		不採択
2018/9/3	事例/報告	動作する人体のデジタルアーカイブ	4巻3号掲載予定

7. デジタルアーカイブ・ベーシックス

5巻シリーズとして、勉誠出版より、以下のとおり刊行した。

巻	タイトル	著者	ISBN	発売日	ページ数
1	権利処理と法の実務	福井 健策 (監修), 数藤 雅彦 (責任編集)	978-4-585-20281-3	2019/3/31	
2	災害記録を未来に活かす	今村 文彦 (監修), 鈴木 親彦 (責任編集)	978-4-585-20282-0	2019/6/30	

8. 各種活動

8.1 シンポジウム等

(1) 肖像権ガイドライン第1回円卓会議—デジタルアーカイブの未来をつくる

日時: 2019年9月26日(木) 15:30~18:30

会場: 御茶ノ水ワテラスコモンホール(千代田区神田淡路町2-101)

主催: デジタルアーカイブ学会

後援: デジタルアーカイブ推進コンソーシアム(DAPCON)

参加者: 約180名

[プログラム]

- ・開会の挨拶: 吉見俊哉(デジタルアーカイブ学会会長代行・東京大学教授)
- ・デジタルアーカイブにおける肖像権の諸問題: 瀬尾太一(日本写真著作権協会常務理事・授業目的公衆送信補償金等管理協会常務理事)
- ・肖像権処理ガイドライン(案)の概要: 数藤雅彦(弁護士)
- ・ラウンドテーブル

足立昌聰(弁護士)、生貝直人(東洋大学准教授)、坂井知志(国士舘大学スポーツアドミニストレーター)、数藤雅彦(弁護士)、瀬尾太一(日本写真著作権協会常務理事・授業目的公衆送信補償金等管理協会常務理事)、長坂俊成(立教大学教授)、福井健策(弁護士): 司会、宮本聖二(立教大学教授)、渡邊英徳(東京大学教授)

(2) 肖像権ガイドライン第2回円卓会議 in 関西

主催：デジタルアーカイブ学会関西支部・デジタルアーカイブ学会法制度部会

日時：2020年2月15日(土) 14:00～17:00

場所：同志社大学新町キャンパス 尋真館 1F Z6 教室 (京都市営地下鉄今出川駅下車10分)

内容：

- ・肖像権ガイドライン(案)の提案 数藤雅彦(弁護士・五常総合法律事務所)
- ・現場での課題
 - 植田憲司(京都文化博物館)
 - 松山ひとみ(大阪中之島美術館準備室)
 - 木戸崇之(朝日放送テレビ報道局ニュース情報センター)
 - 三浦寛二(愛荘町立愛知川図書館)
 - 村上しほり(大阪市立大学客員研究員)
- ・コメント 曾我部真裕(京都大学大学院法学研究科教授)
- ・ディスカッション 司会：原田隆史(同志社大学大学院総合政策科学研究科教授)

(3) 公開セミナー「ミュージアムとジャパンサーチ可能性と課題」

日時：2020年2月20日(火) 13:30-17:00

場所：東京大学本郷キャンパス工学部2号館93b

[プログラム]

- ・知的財産推進計画とジャパンサーチ(内閣府知的財産戦略推進事務局)
- ・ジャパンサーチ(試験版)の紹介と実体験(国立国会図書館職員)
- ・最近のオープンデータ政策の動向とデジタルアーカイブ(〇〇〇〇)
- ・デジタルアーカイブ運用の制度的課題(田良島 哲(東京国立博物館))
- ・デジタルアーカイブ運用の技術的課題(村田良二(国立文化財機構))
- ・研究・実践プロジェクト、開発者からのライトニングトーク
- ・質疑応答、意見交換

8.2 定例研究会

(1) 第6回定例研究会

日時：2019年4月20日(土) 14:00～17:00

場所：東京大学本郷キャンパス工学部2号館93b

[プログラム]

- ・学会活動近況報告
- ・「デジタル化された複数参考図書利用によるアクティブラーニングと教育効果改善の可能性について」山里敬也 名古屋大学教養教育院教授
- ・「市民参加で解読するくずし字資料 — デジタルアーカイブ学会第1回実践賞受賞記念発表」橋本雄太 国立歴史民俗博物館助教

参加者：31名

(2) 第7回定例研究会：ジャパンサーチの課題と展望

日時：2019年9月24日(火) 13:00～17:30

場所：東京大学本郷キャンパス工学部2号館92b

[プログラム]

第1部 ジャパンサーチ試行版の評価

・仕組み・社会的位置づけの観点から：13:00～13:30 永崎研宣(一般財団法人人文情報学研究所)

・システム構成の観点から：13:30～14:00 大向一輝(東京大学大学院人文社会系研究科)

第2部 ジャパンサーチ正式版への期待 14:15～15:15

・大井将生(元千葉県高等学校教諭・東京大学院生)

・岡田一祐(国文学研究資料館)

- ・坂井千晶（前アイオワ大学図書館司書）
- ・佐久間大輔（大阪自然史博物館）
- ・松澤有三（インディゴ）
- ・諸田和幸（伊那市地域おこし協力隊・高遠ぶらり事務所）

第3部 ディスカッション 15:30～17:30

司会：福島幸宏（東京大学大学院情報学環）

(3) 第8回定例研究会

日時：2019年11月22日（土）13:00～16:00

場所：東京大学本郷キャンパス工学部2号館93b

[プログラム]

- ・デジタルアーカイブ産業賞受賞社からの最新技術報告
- ・報告1：寺師太郎（凸版印刷株式会社 文化事業推進本部アライアンス開発部アライアンス開発T課長）
- ・報告2：奥村幸司（株式会社サビア 代表取締役）
- ・報告3：久保田巖（株式会社アルステクネ・イノベーション、株式会社アルステクネ代表取締役CEO）

8.3 部会等

8.3.1 法制度部会

(1) シンポジウム「肖像権ガイドライン円卓会議—デジタルアーカイブの未来をつくる」

前掲

(2) 部会例会

第13回 2019/3/25 「肖像権」ガイドライン検討

第14回 2019/5/31 「肖像権円卓会議」企画、「肖像権」ガイドライン検討

第15回 2019/7/16 「肖像権円卓会議」企画、「肖像権」ガイドライン検討

第16回 2019/10/15 「肖像権」ガイドライン検討

第17回 2019/11/27 「肖像権」ガイドライン検討

第18回 2020/1/9 「肖像権」ガイドライン検討、第2回第3回円卓会議企画

第19回 2020/2/6 第2回第3回円卓会議企画

第20回 2020/2/26 肖像権円卓会議 in 関西報告、第3回円卓会議企画

(3) 肖像権ガイドライン

2019/9/26 シンポジウムにて公開

8.3.2 人材養成部会

(1) スマートな学びで未来の自分を発見

日時：2019年8月22日（木）13:00～15:30

主催：デジタルアーカイブ学会人材養成部会

共催：岐阜女子大学

会場：岐阜市じゅうろくプラザ（JR岐阜駅より2分）

[プログラム]

- ・基調講演「君たちはデジタル時代をどう生きるか—デジタルアーカイブが新たな未来を拓く」沖方丁
- ・トークセッション「2020年以降、企業が求めるのはデジタルアーキビスト」沖方丁、長丁光則氏（東京大学特任教授）
- ・講演「デジタルアーカイブの可能性と新たな展開」長丁光則

(2) 第13回デジタルアーカイブ研究会

日時：2019年11月23日（土・祝）13：00～17:15

会場：岐阜女子大学 文化情報研究センター（岐阜県岐阜市明徳町10番地 杉山ビル4階）
[プログラム]

- ・キーノート「地域のデジタルアーカイブをどのようにジャパンサーチとリンクさせるか」国立国会図書館
- ・一般発表

(3) 第14回デジタルアーカイブ研究会

日時：2020年2月11日（火・祝）

会場：岐阜女子大学 文化情報研究センター

主催：岐阜女子大学

後援：岐阜市・郡上市・高山市・NPO 法人日本デジタルアーカイブ資格認定機構・デジタルアーカイブ学会・日本教育情報学会(予定)

[プログラム]

内容:

- ・私立大学研究ブランディング事業報告「地域資源デジタルアーカイブによる知の拠点形成のための基盤整備事業」
- ・基調講演「記録のチカラ デジタルアーカイブが新たな価値の基盤を創る」青柳 正規（多摩美術大学理事長・元文化庁長官・東京大学名誉教授）
- ・各研究会並びに講座
- ・参加者58名

8.3.3 SIG「デジタルアーカイブ理論研究会」

- 第1回 2019/5/23 東京大学 研究会の目的と運営
- 第2回 2019/6/27 東洋大学 デジタルアーカイブの「要件」をめぐる議論
- 第3回 2019/7/22 東洋大学 デジタルアーカイブの境界領域の検討1
- 第4回 2019/8/20 東洋大学 デジタルアーカイブの境界領域の検討2
- 第5回 2019/9/30 東京大学 研究プログラムの可能性についての議論
- 第6回 2019/11/5 東京大学 研究分担についての討論・DA学会研究大会のセッションの企画
- 第7回 2019/12/12 東洋大学 共著書籍執筆に向けてのアイディアの検討
- 第8回 2020/1/27 東京大学 3冊（系譜・実践知・概念）の書籍企画を計画
- 第9回 2020/3/11 東京大学 各書籍構想の検討および執筆体制の確認・DA学会研究大会セッションの構成についての議論

8.3.4 SIG「ジャパンサーチ研究会」

(1) 研究会会合

- 第1回 2019/10/7 東京大学 SIGの結成について議論
- 第2回 2019/12/6 東京大学 今後の活動について議論、イベント開催決定
- 第3回 2020/1/8 東京大学 「ミュージアムとジャパンサーチ」イベントについて検討

(2) 提言発表

2019年10月30日にデジタルアーカイブジャパン実務者検討委員会高野明彦座長に提出し、ホームページで公開

9. 後援等

NO	イベント名称	主催	日	場所	種別

1	2019年度アート・ドキュメンテーション学会年次大会	アート・ドキュメンテーション学会	2019/6/8-9	成安造形大学	後援
2	JADH2019	日本デジタル・ヒューマニティーズ学会	2019/8/29-31	関西大学千里山キャンパス	後援
3	アーカイブサミット2018-2019	アーカイブサミット組織委員会	2019/6/11	千代田区立日比谷図書文化館	後援
4	2018年度デジタルアーカイブ産業賞授賞式典	デジタルアーカイブ推進コンソーシアム	2019/7/18	東京大学	後援
5	人文科学とコンピュータシンポジウム（じんもんこん2019）	（社）情報処理学会人文科学とコンピュータ研究会	2019/12/14-15	立命館大学 大阪いばらきキャンパス	後援
6	第24回情報知識学フォーラム	情報知識学会	2019/11/23	IT ビジネスプラザ 武蔵	後援
7	Code4Lib JAPAN カンファレンス 2019	Code4Lib JAPAN	2019/9/7-8	大阪市立中央図書館	後援
8	第13回資料保存シンポジウム	情報保存研究会	2019/12/23	一橋講堂	後援
9	映画の復元と保存に関するワークショップ IN KYOTO	映画の復元と保存に関するワークショップ 2019 IN KYOTO 実行委員会	2019/11/15-17	京都文化博物館、京都経済センター	協力
10	アートコンテンツ活用シンポジウム	アート活用懇談会	2019/12/23	東京大学本郷キャンパス	後援